



# Cisco Unified IP Video Phone のカスタマイズ

---

この章では、電話機の呼出音、背景イメージ、およびアイドル表示をサイトでカスタマイズする方法について説明します。呼出音は、電話機がコールを受信したときに再生されます。背景イメージは、電話機の LCD スクリーンに表示されます。アイドル表示は、電話機が所定の期間使用されていない場合に、LCD スクリーンに表示されます。

この章は、次の項で構成されています。

- [カスタム電話呼出音の作成 \(P.6-2\)](#)
- [カスタム背景イメージの作成 \(P.6-5\)](#)

## カスタム電話呼出音の作成

Cisco Unified IP Video Phone には、DEFAULT、Ring Ring、Discrete、Fantasy、Space、および Jazz という 6 個のデフォルト呼出音タイプが付属しており、これらはハードウェアに内蔵されています。また、Cisco Unified CallManager では、一連のデフォルト追加呼出音も提供しています。これらは、パルス符号変調 (PCM) ファイルとしてソフトウェアに実装されています。この PCM ファイルは、サイトで使用できる呼出音のリスト オプションを記述した XML ファイル (RingList.xml) とともに、各 Cisco Unified CallManager サーバの TFTP ディレクトリにあります。

次の各項で、PCM ファイルを作成し、RingList.xml ファイルを編集して、サイトで使用できる電話機呼出音をカスタマイズする方法について説明します。

- [RingList.xml ファイルの形式の要件 \(P.6-2\)](#)
- [カスタム呼出音タイプの PCM ファイルの要件 \(P.6-3\)](#)
- [カスタム電話呼出音の設定 \(P.6-4\)](#)

### RingList.xml ファイルの形式の要件

RingList.xml ファイルは、電話機の呼出音タイプのリストを保持する XML オブジェクトを定義しています。このファイルには、呼出音タイプを 50 個まで含めることができます。呼出音タイプごとに、その呼出音タイプに使用される PCM ファイルへのポインタ、および Cisco Unified IP Phone の Ring Type メニューでその呼出音について表示されるテキストを記述します。このファイルは、各 Cisco Unified CallManager の Cisco TFTP サーバの C:\Program Files\Cisco\TFTPPath ディレクトリに保持されます。

CiscoIPPhoneRingList XML オブジェクトで、次の簡単なタグ セットを使用して情報を記述します。

```
<CiscoIPPhoneRingList>
  <Ring>
    <DisplayName/>
    <FileName/>
  </Ring>
</CiscoIPPhoneRingList>
```

定義名には、次のような特性があります。電話機の呼出音タイプごとに、必須の `DisplayName` と `FileName` を記述する必要があります。

- `DisplayName` には、関連付けられた PCM ファイルのカスタム呼出音の名前を定義します。この名前は、Cisco Unified IP Phone の Ring Type メニューに表示されます。
- `FileName` には、`DisplayName` に関連付けるカスタム呼出音の PCM ファイルの名前を指定します。



(注)

`DisplayName` フィールドと `FileName` フィールドは、25 文字以下にする必要があります。

次の例は、電話機の呼出音タイプを 2 つ定義した `RingList.xml` ファイルを示しています。

```
<CiscoIPPhoneRingList>
  <Ring>
    <DisplayName>Analog Synth 1</DisplayName>
    <FileName>Analog1.raw</FileName>
  </Ring>
  <Ring>
    <DisplayName>Analog Synth 2</DisplayName>
    <FileName>Analog2.raw</FileName>
  </Ring>
</CiscoIPPhoneRingList>
```

## カスタム呼出音タイプの PCM ファイルの要件

呼出音の PCM ファイルは、Cisco Unified IP Phone で正常に再生するには次の要件を満たしている必要があります。

- 未加工 PCM（ヘッダーなし）。
- サンプリング回数：1 秒間に 8,000 回。
- 1 サンプルにつき 8 ビット。
- uLaw 圧縮。
- 呼出音の最大サイズ：16,080 サンプル。

## ■ カスタム電話呼出音の作成

- 呼出音の最小サイズ：240 サンプル。
- 呼出音のサンプル数は 240 で割り切れる。
- 呼出音は、ゼロ交差で開始および終了する。
- カスタム電話呼出音の PCM ファイルの作成には、ファイル形式に関するこれらの要件を満たした、任意の標準的なオーディオ編集パッケージを使用できます。

## カスタム電話呼出音の設定

Cisco Unified IP Video Phone 7985 のカスタム電話呼出音を作成するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ 1** 各カスタム呼出音の PCM ファイルを作成します（ファイルごとに呼出音 1 つ）。PCM ファイルでは、[P.6-3 の「カスタム呼出音タイプの PCM ファイルの要件」](#)に示した形式ガイドラインを遵守してください。
  - ステップ 2** 作成した新しい PCM ファイルを、クラスタ内にある各 Cisco Unified CallManager の Cisco TFTP サーバの C:\Program Files\Cisco\TFTPPath ディレクトリに配置します。
  - ステップ 3** テキストエディタを使用して、RingList.xml ファイルを編集します。このファイルの形式および RingList.xml ファイルの例については、[P.6-2 の「RingList.xml ファイルの形式の要件」](#)を参照してください。
  - ステップ 4** 修正内容を保存し、RingList.xml ファイルを閉じます。
  - ステップ 5** 新しい RingList.xml ファイルをキャッシュするには、Cisco Unified CallManager Serviceability を使用して、TFTP サービスをいったん停止し、もう一度開始します。または、Advanced Service Parameters にある「Enable Caching of Constant and Bin Files at Startup」TFTP サービスパラメータをいったん無効にして、もう一度有効にします。

## カスタム背景イメージの作成

ユーザに対して、電話機の LCD スクリーンに使用されるさまざまな背景イメージを提供できます。ユーザは、電話機の **Settings > User Preferences > Background Images** を選択して、背景イメージを選択できます。

ユーザに表示されるイメージ選択肢は、電話機が使用している TFTP サーバに保存された PNG イメージと XML ファイル (List.xml) から取得されます。TFTP サーバに独自の PNG ファイルを保存し、XML ファイルを編集すると、ユーザが選択できる背景イメージを指定することができます。この方法によって、お客様の企業ロゴなどのカスタム イメージを提供できます。

次の各項で、独自の PNG ファイルを作成し、List.xml ファイルを編集して、サイトで使用できる背景イメージをカスタマイズする方法について説明します。

- [List.xml ファイルの形式の要件 \(P.6-5\)](#)
- [カスタム背景イメージの PNG ファイルの要件 \(P.6-7\)](#)
- [背景イメージの設定 \(P.6-7\)](#)

### List.xml ファイルの形式の要件

List.xml ファイルは、背景イメージのリストを保持する XML オブジェクトを定義しています。List.xml ファイルは、TFTP サーバの次のフォルダに保存されます。

C:\Program Files\Cisco\TFTPPath\Desktops\800x600x16



#### ヒント

ディレクトリ構造と List.xml ファイルを手動で作成する場合は、TFTP サービスによって使用されるユーザである .\CCMSservice が、そのディレクトリとファイルにアクセスできるようにしてください。

List.xml ファイルには、背景イメージを 50 個まで含めることができます。イメージは、電話機の Background Images メニューに表示する順に記述します。List.xml ファイルでは、ImageItem という要素タイプをイメージごとに 1 つずつ記述します。ImageItem 要素は、次の 2 つの属性を保持しています。

- Image: 電話機の Background Images メニューに表示されるサムネイルイメージの取得場所を指定するユニフォーム リソース識別子 (URI)。
- URL: 電話機がフルサイズイメージを取得する場所を指定する URI。

次の例は、2 つのイメージを定義した List.xml ファイルを示しています。イメージごとに、必須の Image 属性と URL 属性が含まれている必要があります。この例に示された TFTP URI が、フルサイズイメージとサムネイルイメージにリンクする唯一の方法です。HTTP URL のサポートは提供されません。

### List.xml の例

```
<CiscoIPPhoneImageList>
<ImageItem Image="TFTP:Desktops/320x212x12/TN-Fountain.png"
URL="TFTP:Desktops/320x212x12/Fountain.png"/>
<ImageItem Image="TFTP:Desktops/320x212x12/TN-FullMoon.png"
URL="TFTP:Desktops/320x212x12/FullMoon.png"/>
</CiscoIPPhoneImageList>
```

Cisco Unified IP Phone のファームウェアには、デフォルトの背景イメージが含まれています。このイメージは、List.xml ファイルには定義されていません。デフォルトのイメージは、電話機の Background Images メニューでは常に先頭に表示されます。



(注)

Cisco Unified IP Video Phone 7985G では、サムネイルのプレビューをサポートしていません。メニューにファイル名が一覧表示されるので、Select を押してイメージを確認し、保存する場合は Save を押します。

## カスタム背景イメージの PNG ファイルの要件

それぞれの背景イメージには、フルサイズの PNG ファイルが必要です。背景イメージの PNG ファイルは、Cisco Unified IP Video Phone で正常に表示するには次の要件を満たしている必要があります。

- フルサイズイメージ：800 ピクセル（幅）x 600 ピクセル（高さ）
- カラーパレット：最大 16 ビットカラー。16 ビットを超える色数も使用できますが、電話機では、イメージを表示する前にカラーパレットが 16 ビットに減色されます。最適な表示結果を得るには、PNG ファイルの作成時に、イメージのカラーパレットを 16 ビットに減色します。



### ヒント

色調レベルの数値をカラーチャンネルごとに指定できる、ポスタライズ機能に対応した画像プログラムを使用している場合は、チャンネルごとの色調レベルの数値を 16 に設定します（赤 16 階調 x 緑 16 階調 x 青 16 階調 = 4,096 色）。

## 背景イメージの設定

Cisco Unified IP Phone のカスタム背景イメージを作成するには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1** 各イメージの PNG ファイルを 2 個作成します（フルサイズバージョンとサムネールバージョン）。PNG ファイルでは、[P.6-7 の「カスタム背景イメージの PNG ファイルの要件」](#) に示した形式のガイドラインを遵守してください。
- ステップ 2** 作成した新しい PNG ファイルを、クラスタ内の各 Cisco Unified CallManager の TFTP サーバにある次のフォルダに配置します。

C:\Program Files\Cisco\TFTPPath\Desktops\320x212x12



**(注)** シスコでは、カスタム イメージ ファイルのバックアップ コピーを別の場所にも保存しておくことをお勧めします。このバックアップ コピーは、カスタマイズしたファイルが Cisco Unified CallManager のアップグレードで上書きされた場合に使用できます。

**ステップ 3** テキスト エディタを使用して、List.xml ファイルを編集します。このファイルの位置、形式の要件、およびファイルの例については、P.6-5 の「[List.xml ファイルの形式の要件](#)」を参照してください。

**ステップ 4** 修正内容を保存し、List.xml ファイルを閉じます。



**(注)** カスタマイズした List.xml ファイルは、Cisco Unified CallManager をアップグレードすると、デフォルトの List.xml ファイルに置き換えられます。List.xml ファイルをカスタマイズした後は、ファイルのコピーを作成して、別の場所に保存しておいてください。Cisco Unified CallManager をアップグレードした後に、デフォルトの List.xml ファイルを保存済みのコピーで置き換えます。